



# れもんカフェ リオス 榎島

を訪れて

京都府宇治市で開催されている【れもんカフェ】に参加させて頂きました。

【れもんカフェ】は、宇治市の委託事業として市内の地域包括支援センター圏域ごとに開催されています。

見学させて頂いたこの日は **リオス 榎島** という喫茶店で、午後2時から3時半の間、開催されました。木のぬくもりを感じるカフェは、広々としていてテーブル数も多く、くつろげるお座敷もあり、またカウンターはじっくり語らえる場所であり、コーヒー、紅茶、スイーツを準備できる場所にもなっていました。

当日は、若年性認知症のご本人、そのご家族、地域の方たちが26名、スタッフが8名参加されていました。

## 当日の内容

### ● 第1部 認知症に関するお話

洛南病院の森俊夫先生より「宇治の新しい旅路」と題してお話がありました。宇治市の歴史ある地場産業のお茶をテーマに、サポート体制が整えば、認知症のご本人にできる仕事としてお茶摘みなどを検討していることなど、地場産業とご本人を繋ぐ取り組みをお聞きました。またこの日はご本人とご家族が、紅葉狩りなど行楽に出かけられた様子も上映されました。



### ●● 第2部 ピアノ演奏

ミュージシャンのゆきこさんによるピアノ演奏が行われました。当日はクリスマスも近く、リズムカルなクリスマスソングから、しっとりとしたオリジナル曲まで、伸びやかな歌声に癒やされました。また歌の中には言葉探しをするゲームも盛り込まれており、みなさんが真剣に耳を澄ませて聴いている様子も微笑ましく、とても楽しめる演奏でした。生の演奏を聴くことは、気持ちもリフレッシュされ、誰もが楽しめるものでした。

### ●●● 第3部 カフェ・交流タイム

カフェ・交流タイムでは、顔見知りの参加者がそれぞれに歓談されたり、専門職の人に相談をしたり、お茶やお菓子をいただきながら話はずんでいくようでした。その中でも、認知症のご本人が、カフェで、自分の現状について話されたり、得意な歌を披露されたり、何かを発信することを目標にされていたことも大きな特徴でした。



## れもんカフェを訪れて…

カフェは3部構成で成り立っており、メリハリのある内容となっていました。参加する人によって、第1部を真剣に聞いていきたい人…、第2部を楽しみにしている人…、第3部の楽しいおしゃべりと美味しいコーヒーがお目当ての人…、それぞれの楽しみ方ができ、また自分に興味の無かった分野に触れることもできます。またそのメニューは、短時間でうまく切り替わるので、飽きることなく過ごすことができると感じました。

医師を中心にカフェのメニューが作成され、スタッフにより進められている、連携のしっかりとしたこのカフェは、訪れる人に大きな安心感を与えると感じました。高齢者の方も、地域の方も、同様に楽しく過ごせるカフェだと思いました。

当日は私達見学者も、若年性認知症のご本人やご家族が充実した時間を過ごされている様子を拝見しながら、既存の喫茶店ならではの薫り高いコーヒーと美味しいお菓子を頂きながら、楽しませて頂きました。

## 宇治市福祉サービス公社 中宇治地域包括支援センター 川北氏より

宇治市の認知症カフェは【れもんカフェ】の名称で開催しています。地域や開催場所は異なりますが、3部構成(ミニ講演、ミニコンサート、カフェ・交流タイム)のスタイルはいずれも同じで、最近では【れもんカフェ】のはしごをされる当事者・家族の皆様も増えてきました。

また、当事者の方がミニ講演でご自身のことを語られたり、得意な生け花でカフェを飾っていただく等、当事者の方の活動の場にもなっています。

宇治市のカフェは認知症初期集中支援チームとも連動し、カフェから支援チーム、支援チームからカフェというつながりが可能です。若年性認知症の方をはじめとする初期支援が不足する中、場としてのカフェ、機能としての初期集中を両輪として早期からの受け止めとサポートに取り組んでいます。

(【れもんカフェ】は宇治市の事業であるため、利用対象者は宇治市民とさせていただきます。)